

災害別の災害への備え 風水害1

風水害 家の周り

雨の影響は、表佐地区内でも場所によって違うので、対策も家によって変わってきます。自宅が浸水しやすいかどうかを、表佐地区のハザードマップで確認しておきましょう。

また、避難場所や避難経路、避難方法を決めておきましょう。家族で話し合って避難場所を3カ所決めておきましょう。

災害によっては災害保険が使えることもあるので、事前に確認しておきましょう。

事前の情報を把握して、早めの対策が大切です

テレビアンテナ

錆びたりゆるんだりしていないか

雨戸やシャッターのない窓

割れたガラスの飛散防止のためにカーテンを閉めたり、窓に飛散防止フィルムをはる

物干し竿

飛ばされないように下に降ろしておく

庭木

飛ばされたり、倒れないように固定する

植木鉢

強風で飛ばされそうなものは家の中へ

屋根瓦やトタン

めくれたり壊れていないか

雨どい

枯葉や砂がつまっていないか

雨戸やシャッター

ちゃんと閉まるか
点検補修を

プロパンガス

固定されているか
確認

窓

ひび割れやがたつきはないか
確認

使っていないテレビアンテナが屋根の上に立っていませんか？

日頃から気になるところは、早めに修理や撤去しておきましょう。

台風が来てからでは、業者は来てくれません。台風が来ないときに、業者に来てもらいましょう。

万が一家や家財に被害があった場合は、写真を撮っておきましょう。保険金請求のために必要になります。家全体や壊れた部分などを、角度を変えて2、3枚撮っておきましょう。

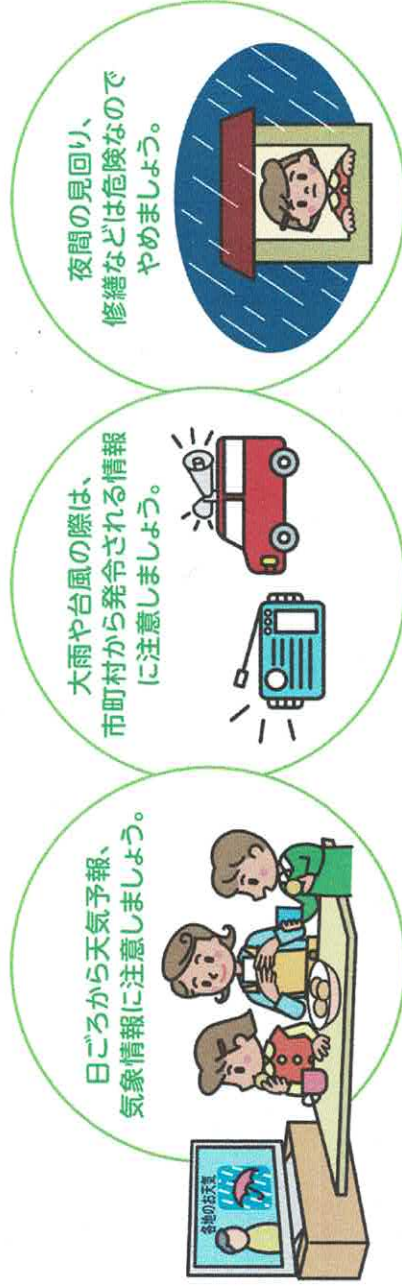
災害別の災害への備え 風水害 2

風水害 注意すること

地震などとは違い、水害は予測できる可能性が高い災害です。しかし、避難行動を誤ると、命の危険があります。

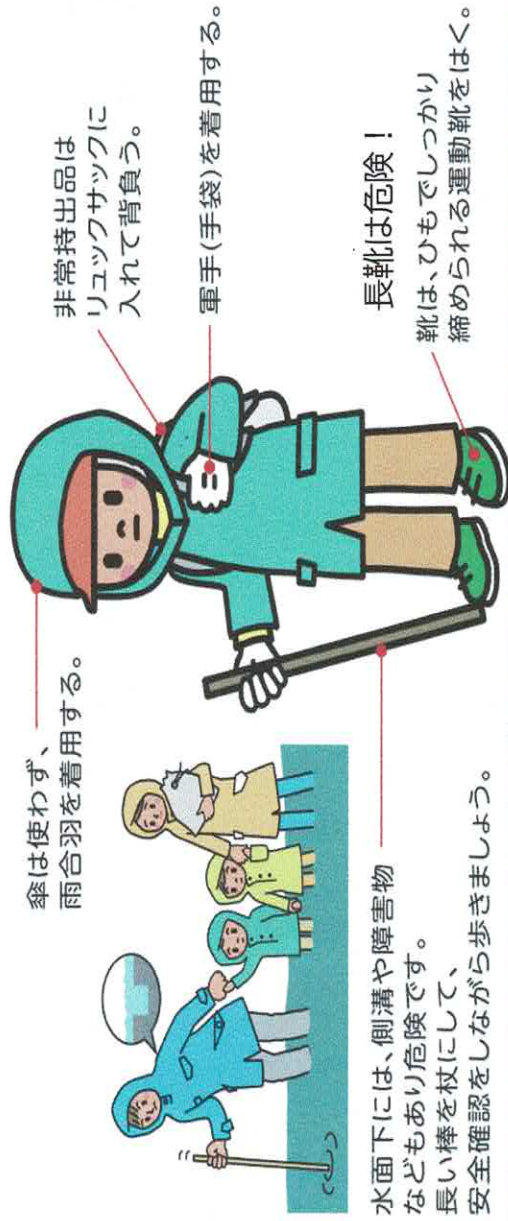
「大雨に警戒が必要です」という気象庁の呼びかけに、「またか」とか「ここは大丈夫だろう」と思っていないですか？人間の心は、危機的な状況でも「たいしたことはない」と考え、周囲の人とは違う行動をとりがたがない傾向があります。

「たぶん大丈夫」ではなく、「ひよっとしたら危ない」と考え、準備・行動することが大切です。



早めの避難が一番！ギリギリの避難は命に関わる！
車で避難するなら大雨になる前に！

大雨になってからの車の避難は危険！



洪水時の避難



避難するときは、安全を確認して、非常持ち出し品を持って避難しましょう。また、近所の方にも積極的に声をかけて安否を確認しましょう。自治会長さんにも連絡しましょう。